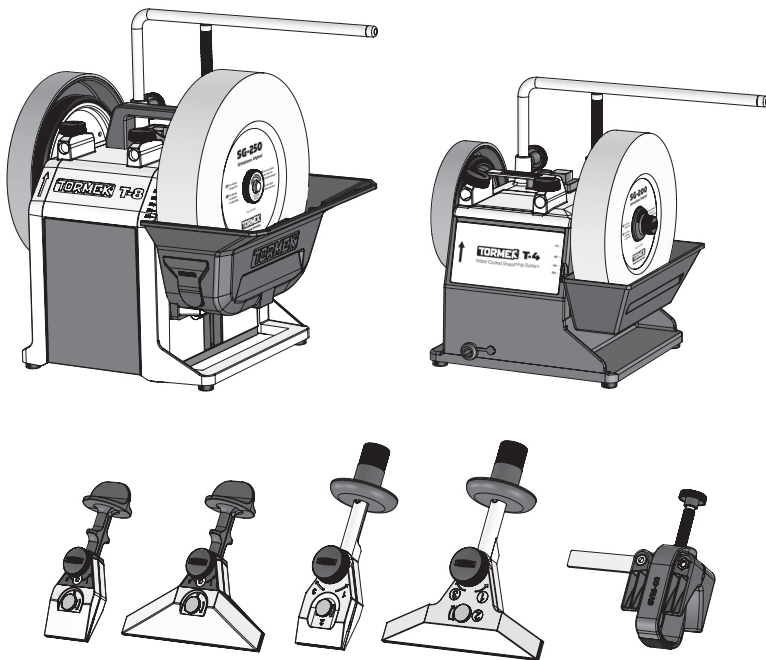


互換性

Tormek T-8およびTormek T-4のほか、ユニバーサルサポートを備えた旧型機と互換性があります。必ずTormekナイフ用治具のいずれかと組み合わせて使用してください。

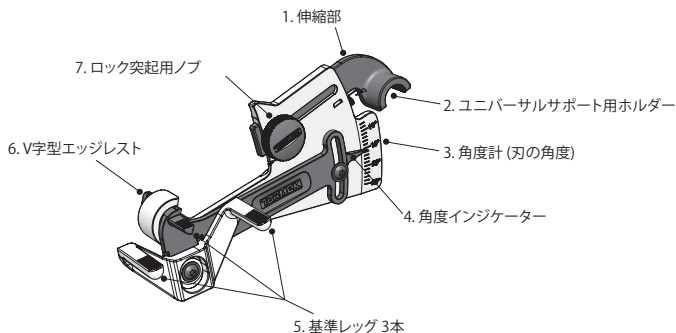


- KJ-45 ナイフ用センタリング治具
- KJ-140 ナイフ用ワイドセンタリング治具
- SVM-45 ナイフ用治具
- SVM-140 ロングナイフ用治具
- SVM-00 スモールナイフホルダー
(KJ-45 ナイフ用センタリング治具またはSVM-45 ナイフ用治具と併用)

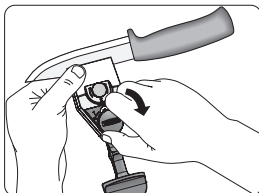
インストラクションビデオ



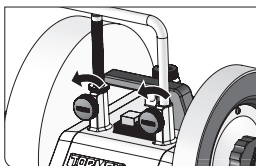
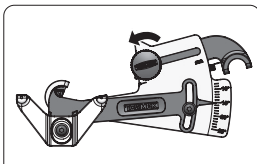
ヒント QRコードをスキャンすると、KS-123 ナイフアングルセッターの簡単な使い方に関するインストラクションビデオをご覧いただけます。



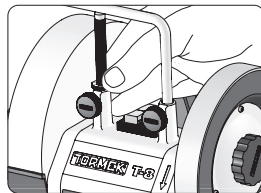
準備



1. 説明書に従ってナイフをナイフ用治具に取り付け、脇に置いておきます。



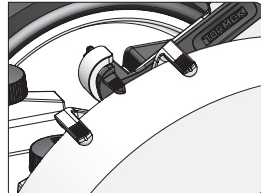
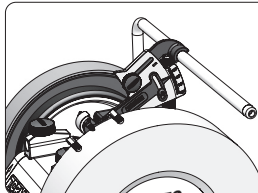
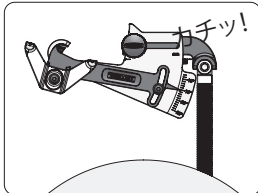
2. ロック突起用ノブ(7)とユニバーサルサポートマウントの2つのノブが緩んでいることを確認します。



3. ユニバーサルサポートを上げる方が角度を調整しやすいため、ユニバーサルサポートを必要だと思われる位置よりも少し低くします。ユニバーサルサポートのノブは緩めたままにしておきます。

使用方法

1. KS-123 ナイフアングルセッターをTormekの機械に取り付ける

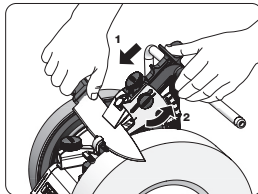
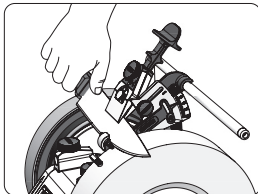


ユニバーサルサポート用ホルダー(2)を所定の位置にはめ込み、KS-123 ナイフアングルセッターをユニバーサルサポートに取り付けます。

3本の基準レッグ(5)は砥石に接触する必要がありますが、この位置ですべてのレッグが砥石に接触している必要はありません。

注意 セッティング中は、必ず機械のスイッチをオフにしてください。

2. ナイフに合わせてアングルセッターの突出量を調整する



ナイフ用治具がアングルセッターの右側にある状態で、V字型エッジレスト(6)の中心に刃先を合わせてナイフの刃を挿入します。

ナイフを伸縮部(1)とともに前方にスライドさせ、ナイフ用治具のストッパーをユニバーサルサポートにセットします。

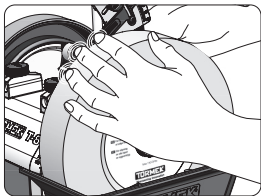
ナイフ用治具のストッパーの平らな部分全体が(研ぐときと同じように)サポートバーに接触していることを確認し、伸縮部(1)を伸ばした状態でロック突起用ノブ(7)を締めます。

KS-123 ナイフアングルセッターが、ナイフ用治具に取り付けたナイフに合わせて調整されます。ナイフを取り付けたナイフ用治具を脇に置きます。

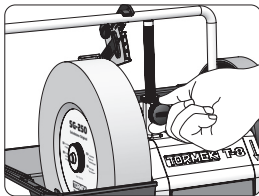
注意 ナイフが砥石に当たらないように注意してください。

注意 ユニバーサルサポートから刃先までの距離が変わると角度が変わるため、ナイフから多くの材料を取り除いた場合は、最終研ぎの前にこの手順をやり直す必要がある場合があります。

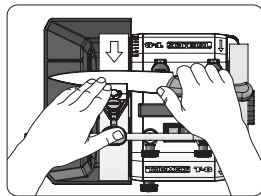
3. 角度の設定



1. 3本の基準レッグ (5) にそれぞれ指を1本ずつかけ、軽く押さえます。角度インジケータ (4) が角度計 (3) の目的の研ぎ角度を指すまで、ユニバーサルサポートを持ち上げます。この手順では、横向きレッグ3本すべてが砥石に接触していることを確認してください。



2. 角度インジケータが目的の研ぎ角度を指すようにユニバーサルサポートを持ち上げたら、ユニバーサルサポートのノブをロックし、KS-123 ナイフアンクルセッターをユニバーサルサポートから取り外します。



3. ユニバーサルサポートがナイフ用治具にセットしたナイフの目的の角度に合った高さにセットされ、ナイフを研ぎ始めることができます。KS-123 ナイフアンクルセッターは、砥石径に合わせて自動調整されます。

注意 ユニバーサルサポートがセットされている位置が低すぎると、3本の基準レッグ (5) が同時に砥石に接触しません。この場合は、一番外側の2本のレッグが砥石に当たるまでユニバーサルサポートを持ち上げ、この手順からやり直してください。

